

研究分野	授業科目	配当年次	単位数		研究分野	授業科目	配当年次	単位数		
			必修	選択				必修	選択	
基礎理論研究	看護教育学特論	1		2	保健看護学研究	公衆衛生看護学特論Ⅰ	1		2	
	看護理論特論	1		2		公衆衛生看護学特論Ⅱ	1		2	
	看護研究方法論Ⅰ	1		2		がん薬物療法看護学特論	1		2	
	看護研究方法論Ⅱ	1		2		緩和ケア特論	1		2	
	看護倫理学特論	1		2	高度実践看護研究	がん看護学特論	1		2	
	看護管理学特論	1		2		がん看護援助学特論	1		2	
	家族看護学特論	1		2		がん薬物療法看護援助学特論	1		2	
	看護法科学特論Ⅰ	1		2		緩和ケア援助学特論	1		2	
	看護法科学特論Ⅱ	1		2		がん看護学実習Ⅰ	2		6	
	アドバンストフィジカルアセスメント	1		2		がん看護学実習Ⅱ	2		2	
	病態学特論	1		2		がん看護学実習Ⅲ	2		2	
	臨床薬理学特論	1		2		助産学研究	基礎助産学特論	1		2
	看護臨床医科学特論	1		2			周産期学特論	1		2
	健康教育学特論	1		2			リプロダクティブ・ヘルスト論	1		2
	臨床試験看護学特論	1		2	妊娠期助産診断・技術学演習		1		2	
	コンサルテーション論	1		2	分娩期助産診断・技術学演習		1		3	
	医療福祉学特論	1		2	産褥期助産診断・技術学演習		1		1	
	社会政策・社会保障特論	1		2	周産期救急医学特論		1		1	
	医療福祉制度特論	1		2	新生児医学特論		1		1	
	保健看護学研究	基礎看護学特論Ⅰ	1		2		地域母子保健学特論	1		1
基礎看護学特論Ⅱ		1		2	助産業務管理学特論		1		2	
母性看護学特論Ⅰ		1		2	助産学実習Ⅰ	1		2		
母性看護学特論Ⅱ		1		2	助産学実習Ⅱ	2		9		
小児看護学特論Ⅰ		1		2	看護管理学研究	実践看護管理学特論	1		2	
小児看護学特論Ⅱ		1		2		看護経済学特論	1		2	
成人看護学特論Ⅰ		1		2		看護政策論	1		2	
成人看護学特論Ⅱ		1		2		看護管理学演習Ⅰ	2		2	
高齢者看護学特論Ⅰ		1		2		看護管理学演習Ⅱ	2		2	
高齢者看護学特論Ⅱ		1		2		保健看護学実習Ⅰ	1		2	
学校看護学特論Ⅰ		1		2	保健看護学実習Ⅱ	1		2		
学校看護学特論Ⅱ		1		2	保健看護学セミナーⅠ	1		2		
在宅看護学特論Ⅰ		1		2	保健看護学セミナーⅡ	2		2		
在宅看護学特論Ⅱ		1		2	保健看護学特別研究Ⅰ	2	2			
精神看護学特論Ⅰ		1		2	保健看護学特別研究Ⅱ	2	2			
精神看護学特論Ⅱ		1		2	小計			4	142	

修了要件・必修4単位を含む32単位以上修得し、かつ修士論文又は特定の課題を作成し、最終試験に合格すること。なお、特定の課題については、高度実践看護研究分野、助産学研究分野、看護管理学研究分野に適応とする。

履修方法

<保健看護学研究分野>

- ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
- ・指導教員の担当する「保健看護学特別研究Ⅰ」2単位、「保健看護学特別研究Ⅱ」2単位を必ず修得すること。
- ・修了要件32単位のうち8単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。

<看護管理学研究分野>

- ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
- ・指導教員の担当する「保健看護学特別研究Ⅰ」2単位、「保健看護学特別研究Ⅱ」2単位を必ず修得すること。
- ・修了要件32単位のうち8単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。
- ・認定看護管理者認定審査受験資格を取得できる。

<高度実践看護研究分野>

- ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
- ・指導教員の担当する「保健看護学特別研究Ⅰ」2単位、「保健看護学特別研究Ⅱ」2単位を必ず修得すること。
- ・修了要件32単位のうち8単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。
- ・がん看護専門看護師認定審査受験資格を取得しようとする場合は、下表の17科目を履修し、38単位以上を修得すること。また、実務研修（就労）通算5年以上（うち、がん看護分野の研修（就労）が3年以上）を有すること。

研究分野	授 業 科 目	単位数	履修の方法
基礎理論研究	看護教育学特論	2	選択 8単位
	看護理論特論	2	
	看護研究方法論Ⅰ	2	
	看護倫理学特論	2	
	看護管理学特論	2	
	コンサルテーション論	2	
	アドバンストフィジカルアセスメント	2	
	病態学特論	2	
	臨床薬理学特論	2	
保健看護学研究	看護臨床医科学特論	2	必修 30単位
	がん薬物療法看護学特論	2	
高度実践看護研究	緩和ケア特論	2	
	がん看護学特論	2	
	がん看護援助学特論	2	
	がん薬物療法看護援助学特論	2	
	緩和ケア援助学特論	2	
	がん看護学実習Ⅰ	6	
がん看護学実習Ⅱ	2		
	がん看護学実習Ⅲ	2	

<助産学研究分野>

- ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
- ・指導教員の担当する「保健看護学特別研究Ⅰ」2単位、「保健看護学特別研究Ⅱ」2単位を必ず修得すること。
- ・修了要件32単位のうち8単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。
- ・助産師国家試験受験資格を取得しようとする場合は、修了要件32単位に加えて、下表の12科目28単位を必修とする。

研究分野	授 業 科 目	単位数	履修の方法
助産学基礎	基礎助産学特論	2	必修 28単位
	周産期学特論	2	
	リプロダクティブ・ヘルスト論	2	
・助産技術診断	妊娠期助産診断・技術学演習	2	
	分娩期助産診断・技術学演習	3	
	産褥期助産診断・技術学演習	1	
	周産期救急医学特論	1	
	新生児医学特論	1	
助産管理	地域母子保健学特論	1	
助産管理	助産業務管理学特論	2	
助産実習	助産学実習Ⅰ	2	
	助産学実習Ⅱ	9	